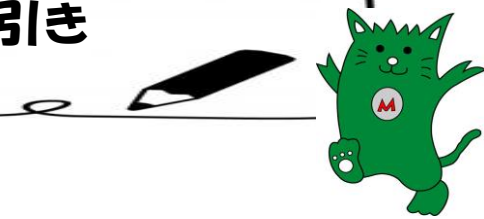


令和3年度 三原市立南小学校 家庭学習の手引き



1 家庭学習はなぜ必要なの？

①学習内容の定着のため

漢字や計算などの学習は、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことを反復練習することで「できる」という自信に変わります。

②学ぶ習慣を身に付けるため

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは脳の活性化につながります。手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで脳も鍛えられ発達します。

③計画的に時間を使う力を付けるため

ゲームをする、テレビを見る、お手伝いをする、勉強をするなど、時間の使い方を考える力は大人になっても必要です。小学生の間から身に付けさせましょう。



2 家庭学習をするときのポイントは？

①決まった時間に！

「あとです。」は実現しにくい約束です。いつ、どれくらいの時間学習をするのか、子供と話し合っ決めて、習慣化しましょう。

②テレビを消して！

テレビの音が聞こえるような環境では、子供は学習に集中できません。見たい番組は録画するなどして、静かな環境を作りましょう。

③整頓された環境で！

マンガやゲームなど気が散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。親の目が行き届き、本人が安心して落ち着いて学習できる環境を整えましょう。

④しっかり褒めて、励まして！

親や教師が子供のがんばりを認め、褒めて励ますことで自信が付き、進んで学習しようという意欲が高まります。前よりもよくなったところを見つけ、声かけをしましょう。



3 家庭学習を習慣化させよう！

①学習時間のめやす

低学年：30分 (10分読書を含む)
 中学年：45分 (10分読書を含む)
 高学年：60分 (10分読書を含む)



②学力アップのコツ

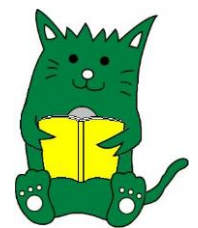
規則正しい生活をしましょう！

- ・早寝、早起きをする。
- ・朝食は必ずとる。
- ・毎朝、排便をする。
- ・テレビやゲームは1日〇時間。(家族で決めましょう)
- ・時間割や学習用具を自分でそろえる。
- ・家の手伝いを毎日続ける。

4 家庭学習の内容は？

①全学年共通した内容

①読む	国語の本を音読したり、読書をしたりする。
②漢字	文字の練習（ひらがな、カタカナ、漢字）をする。
③計算	計算の練習をする。
④自主	自分の苦手な教科、内容を選んでする。
⑤その他	担任の先生から出された課題に取り組む。 リコーダー（3年生以上）の練習をする。 家の手伝いをする。



家族の一員として、
自分でできる
家の手伝いを決めて、
毎日続けよう！

②自主学習の具体例

国語	漢字練習、意味調べ、視写、ことばの使い方調べなど
算数	計算ドリル、教科書の問題、テストのやり直しなど
社会・理科など	学習した内容や関連した興味ある内容について、本やインターネットなどで調べる

復習や繰り返し学習はとても大切です。
予習をするのもいいですよ。事前に学習しているので、
学習内容がよく分かり授業が楽しいものへと変わります。

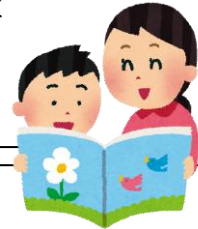


5 各学年で身に付けたい力

一年生 二年生

こんな時期です

- なんでも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。



こんなふうに関わりましょう

【いっしょにして、やる気をおこす】

- いっしょに学習内容ややり方を決めましょう。
- できたことを、どんどん褒めて、意欲を高めましょう。

学年でつけたい力

習慣づけの1年生

- ①鉛筆を正しく持って字が書ける。
- ②ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ③助詞「へ・を・は」の使い分けができる。
- ④80字の配当漢字がすべて読め、9割の漢字が書ける。
- ⑤たし算・ひき算が正確にできる。
- ⑥100までの数を順に並べたり、大小を比べたりできる。

逃げない子にする2年生

- ①160字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②順序よく話ができる。
- ③たし算・ひき算が正確に速くできる。
- ④定規を使って、筆算で計算できる。
- ⑤九九がすらすら言える。
- ⑥決められた長さの直線を正確に引ける。



三年生 四年生

こんな時期です

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。



こんなふうに関わりましょう

【認めて、ほめて、自信をつける】

- やる気が起きるように、家族の温かいアドバイスや励ましの言葉をかけましょう。
- 少しずつ自分でできるように、宿題をみるなど手助けして応援しましょう。

学年でつけたい力

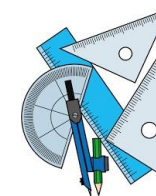
分岐点をのりこえる3年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②短い詩や百人一首をいくつか暗唱できる。
- ③簡単なことわざを知っている。
- ④主語と述語の意味が分かる。
- ⑤かけ算・わり算が正しい手順でできる。
- ⑥はかりを使って、重さがよめる。
- ⑦コンパスを使って円がかける。



「9歳の壁」をやぶる4年生

- ①202字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ④国語辞典・漢字辞典の使い方に慣れる。
- ⑤わり算の筆算ができる。
- ⑥小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑦分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。



五年生 六年生

こんな時期です

- 自分でできると思っているのに、言葉かけに配慮が必要で
- す。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 体も心も急激に変化します。バランスが崩れ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。

こんなふうに関わりましょう

【見守って、伸ばす】

- 子供の話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。



学年でつけたい力

大きくジャンプする5年生

- ①193字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②今までに習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ④小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥図形（三角形・平行四辺形など）の面積が求められる。
- ⑦パソコンでローマ字入力ができる。

中学生活に希望が持てる6年生

- ①小学校で習う漢字のすべて（1026字）が読め、9割の漢字が書ける。
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③分数のかけ算・わり算ができる。
- ④伴って変わる2つの量の関係が分かる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる。
- ⑥歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ⑦三権分立など、社会用語のだいたい説明できる。
- ⑧パソコンで速くローマ字入力ができる。

